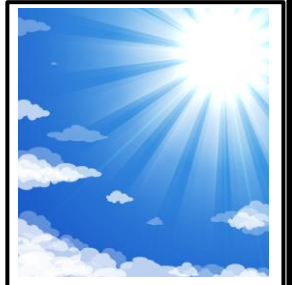


学校だより

千載一遇

第5号
松城中学校
発行 山里 望



さあ！始めよう！！

一斉登校 責任と自覚

長い休校が終わり、いよいよ学校が再開されました。とても嬉しいことです。とは言ってもまだまだ完全にコロナウイルス感染には十分な注意が必要です。また、一人ひとりのマナーやエチケットの徹底がとても重要なポイントになります。今こそ一人ひとりの行動に責任と自覚が必要なきときです。「感染する、させる」は責任で「感染しない、させない」は自覚と捉えて、自分なりの対策を意識しながらこれからの生活に役立てていきましょう。

だれのため！

自分が感染して、他の人に感染させてしまうことは、あってはならないことで、なぜそのようないざこざが起ったかの責任は自分に降りかかってくる。感染してしまおうとすることはその前の自分の行動に自覚がたりなかったことは間違いありません。

しかし、一斉登校のようにどうしてもやらなければならないことができた場合、「感染しない、させない」という自覚は更に重要性が高まり、それぞれが行動に責任を持つことがとても大切です。

また、「一人が皆のため、皆が一人のため」というキーワードを互いに共有して、自分のため仲間のために頑張るときです。

このことを自覚していくことで今までの様な日常生活を取り戻すことができると思っています。



また、責任と自覚、自分のため、人のためを意識し、努力していく中で工夫することを学び、そしてその先には今までの輝いた光を必ず見ることができそうです。今までの日常よりさらに素晴らしい毎日が待っていることを期待して今を過ごしていきます。

考えよう！だからこそ

偏見と差別

コロナに立ち向かっている医療従事者そして感染の危険を顧みず私たち皆の自粛生活を支えるために一生懸命に取り組んでいる多くの方々も私たちと同じように感染しないための知恵で工夫をしながらその恐怖と闘っています。しかしながら、感染よりも恐ろしいことは、その方々とその関係する人たちへ対する誹謗、中傷です。いかにも人そのものがウイルスかのような扱いをするような態度や言葉があることはとても悲しいことです。

これまでも様々な学習活動の中で皆さんは人権について学んできました。人を個人的な心情や感情で本質とは異なる偏った見方をして傷つけてしまう、また間違った見方で人と人を比較してしまうことを学んできました。



見えないウイルスへの恐怖と感染してしまうことへの恐れから些細なことにも神経が高ぶり神経質になってしまふことは誰もが同じです。だからといって自分たちだけ感染しなければいいという考え方で人を差別し偏見を持つことは間違っています。一人ひとりが感染しないよう一生懸命努力しているのですから。

新しい生活習慣から 新しい価値観を 見いだそう！

長い自粛生活で3密をまもるための工夫から家庭や社会においても生活様式や対話の方法など様々な変化が見られました。なかでも、特にオンラインという方法は新しい価値観を生みだしながらいながら他者と顔を会わせながら様々な対話や会議などができる仕組みを急速に発展させています。情報化が進んでいることは色々な機器の進化でなんとなく様子を知ることができていきました。この三ヶ月程の間に誰もが実感することができるとの速さで社会生活の動きに変化がみられたと感じているのは私だけでしょうか？

これからの学校生活の中でも学習の形態やコミュニケーションの在り方など、これまでも無かった様々な対策や方策が進められてくることは間違いありません。

とはいっても、これまでの学校での学習は、様々な変化に対応出来る生徒を育成することを目標に進められてきました。新しい価値観や生活習慣を前向きに発展的に考えて充実した学校生活を送っていきましょう！

学校教育目標「自ら考え、人間性を研ぎ、創造性豊かで力強く生きる生徒」の育成